



建築の魅力を紐解く

官舎に息づいていた暮らしと



佐々木 暢彦氏
町立厚岸病院
院長



角 幸博氏
北海道大学
名誉教授

旧札幌控訴院庁舎 創建100周年 開庁記念スペシャルトーク

2026.9.10 [木] 13:30-15:30

13:30-14:10 裁判所裏のこどもたち

現札幌市資料館が高等裁判所だったころ、敷地内にあった裁判所職員官舎で少年時代を過ごした佐々木暢彦氏。司法の場であり生活の場でもあった当時の思い出やエピソードなどを、貴重な画像を交えつつお話しいたします。

14:10-14:50 札幌控訴院のデザイン美・徹底解剖

建築史の第一人者である角幸博氏が建物の魅力をわかりやすく、深く解説。

15:00-15:30 佐々木氏×角氏 フリートーク

司会進行



福井 慎二氏
NHK札幌放送局
キャスター

場 所 札幌市資料館 2F研修室

〒060-0042 札幌市中央区大通13丁目
地下鉄東西線「西11丁目」出口1より 徒歩5分
市電「中央区役所前」「西15丁目」より 徒歩6分

定 員 40人 (先着)

参加費 無料



資料館HP



Instagram

申 込 Tel 011-251-0731 Fax 011-271-5921 HP www.s-shiryokan.jp

8/12(水)から受付開始 | 定員になり次第締め切り | 受付時間: 9:00~17:00 ※HPは初日のみ10:00~

出演者経歴

ささきのふひこ
佐々木 暢彦氏

1953年札幌市生まれ。1980年に自治医科大学を3期生として卒業。卒業後は道北地方をはじめ、栃木県日光市や八丈島などで地域医療に従事し、2003年からの札幌医大勤務を経て2006年に町立厚岸病院の院長に着任。以来20年にわたり、町の医療確保と充実に尽力している。父の佐々木富勇（よしお）氏は会計課営繕担当技官として旧札幌高等裁判所に退官まで勤務しており、その縁で小学5年生まで裁判所の敷地内で生活していた。

かとうきひろ
角 幸博氏

1947年札幌市生まれ。1970年に北海道大学工学部建築工学科を卒業。2002年から同大学の大学院工学研究科教授を務め、2011年には北海道大学名誉教授となった。現在は建築史家として、北海道内の歴史的建造物の保存や活用のために活動している。また、旧札幌控訴院保存活用検討委員会では委員長を務めている。

ふくいしんじ
福井 慎二氏

1956年札幌市生まれ。1980年にアナウンサーとしてNHKに入局し、札幌・東京・長野・金沢などで勤務。「おはよう日本」「ニュースウオッチ9」など主に報道分野を担当。現在はNHK札幌放送局キャスターとして出演する傍ら、道新文化センター朗読教室講師など、局内外で音声表現者の育成や指導に努めている。北海道移住者6代目で、祖先は積丹町でニシン漁の網元。当時のニシン御殿は資料館「鯨伝習館ヤマシメ番屋」として今も活用されている。

